

『出席停止証明書』が必要な感染症

医師の診断を受け保護者の方が記入をし 登園する際は、出席停止証明書を提出してください。

病名	潜伏期間	感染しやすい時期	主な症状	登園の目安
百日咳	6～20日	感染後3週間	発作性の咳の長期 反復、激しい咳	特有の咳が消失し、5日間の適正な抗菌性 物質製薬による治療が終わるまで
麻疹 (はしか)	10～12日	発症1日前から 発疹出現の4日まで	ピンク色の発疹 リンパ腺が腫れ発熱	発疹に伴う熱が下がった後、 3日を経過し体力が回復してから
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	14～21日	発症3日前から 耳下腺腫後4日	発熱、目下腺、顎の下 (顎下腺)の腫れと痛み	腫れが現れた後5日を経過し、 かつ全身状態が良好になるまで
風疹 (三日はしか)	14～21日	発症出現の前後5日間	発疹、発熱、充血 リンパ腺の腫脹	発疹が消失してから
水痘 (水疱瘡)	11～20日	発症2日前から かさぶたができるまで	発熱、発疹→水痘→ かさぶた種々の時期 の発疹が混在	全ての発疹がかさぶたに なってから
咽頭結膜熱 (プール熱)	5～7日	急性期の数日間	発熱、目やに、 充血、流涙	解熱し症状が消え2日経過 してから
流行性 角結膜炎	5～12日	急性期の数日間	結膜の炎症 軽熱、目やに	治癒するまで
腸管出血性大腸菌 感染症 (O-157)	4～8日	症状がなくなるまで	激しい腹痛や血便 水様便	医師が伝染の恐れがないと 認めるまで
結核	数カ月～数年		咳、痰、発熱	医師が伝染の恐れがないと 認めるまで
急性出血性 結膜炎	1～3日	ウイルスが呼吸器から1～ 2週間、便から数週間～ 数カ月排出される	眼痛、目やに、眼充 血 まぶたの腫れ	医師が伝染の恐れがないと 認めるまで
髄膜炎菌性 髄膜炎	2～4日		発熱、痙攣、 意識障害	医師が伝染の恐れがないと 認めるまで